

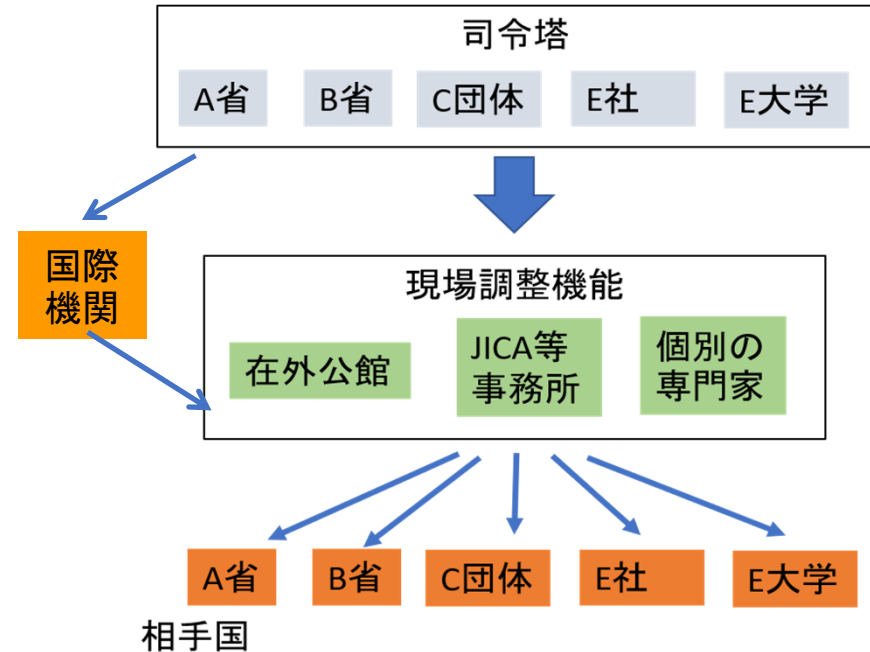
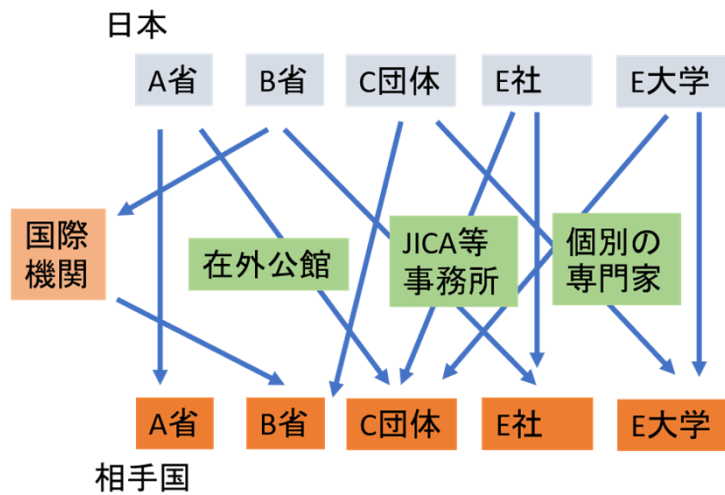
NCGM資料

グローバルヘルス戦略有識者タスクフォース

2021年7月28日



司令塔機能強化と現場調整機能の強化



課題

- 開発・援助方針と現地ニーズの不一致
- 複数案件の連携・調整不十分
- 支援機会・タイミングの逸失
- 相手国が混乱・誤解するリスク
- マルチバイ連携案件への技術面からの形成・評価メカニズム

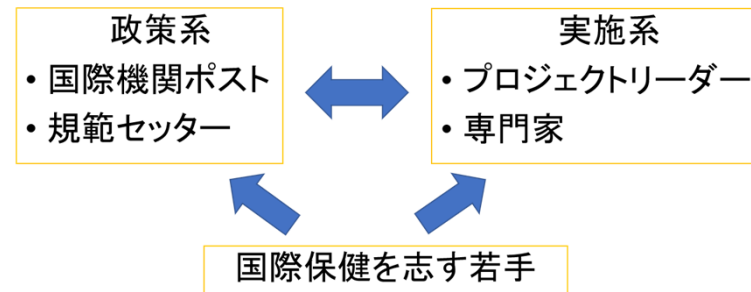
対策

- 司令塔・現場調整機能強化のための人材配置
- 国際機関ポストや規範セッターの活用
- 現場での調整による効果的な案件形成と実施

国際保健人材の育成 (保健ODAのシステム強化について)

ODA案件の企画・実施を支え、グローバル アーキテクチャーに日本が関与するためには、政策系、実施系の両面における人材の育成が必要:

- 国際保健を志す若手人材の増加
- 専門家を養成できるフィールドの確保
- 国際機関ポストへの送り込みや応募支援(若手・中堅・シニア)
- 止まり木機能などのキャリアサポート
- グローバルヘルス/国際保健に関する広報活動

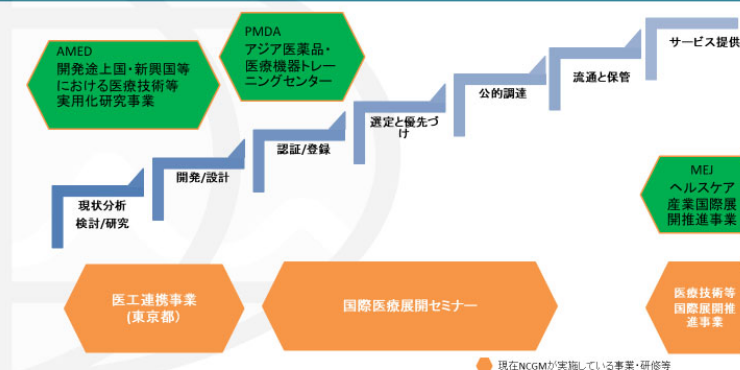


医療の国際展開 (民間セクターや市民社会のグローバルヘルスへの巻き込み強化)

医薬品・医療機器・関連製品の国際展開のステップを踏まえ、低中資源国への国際展開事業実施を通じて、以下を提案。

- 規範セッターや国際機関ポストを通じた各ステップの情報収集と提供(公的支援)
- ニーズ・開発・認証・調達・サービス提供までの効率的な流れ
- 展開が持続するための相手国の制度支援と人材の育成

医療製品の国際展開のステップと関連事業



(参考資料)

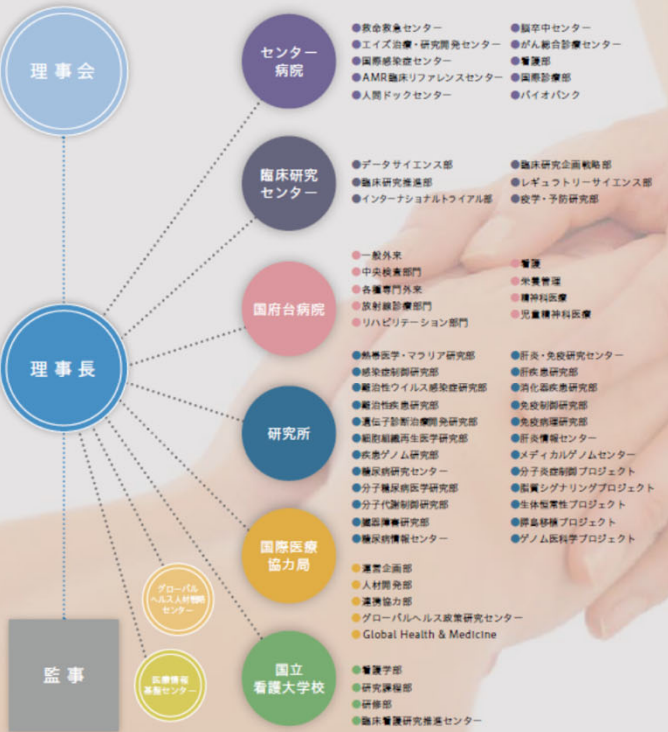
国立国際医療研究センター

ORGANIZATION CHART

組織図

ナショナルセンターのあるべき理想を目指して。
多種多様な部門が協力し、医療・研究と向き合う。

国立国際医療研究センター（NCGM）は、センター病院、臨床研究センター、国府台病院、研究所、国際医療協力局、国立看護大学校などの各部門で構成されています。NCGMは、高度総合医療を提供するとともに、特に国際的な対応を必要とする疾患に関する診断治療を推進しています。また、これらの疾患や医療の分野における国際協力に関し、調査研究および技術者の研修を総合的に行う国立高度専門医療研究センターです。



センター病院 Center Hospital		センター病院は、国立高度専門医療研究センターとして、感染症から難病・代謝性疾患をはじめとする慢性疾患や難病、さらに、人口の高齢化に伴うさまざまな治療ニーズに対応。また革新的な医薬品や医療機器の研究開発、国際展開を推進し、わが国における国際水準の臨床研究や医師主導治療の中心的役割を担っています。	PAGE 11
臨床研究センター Center for Clinical Sciences		臨床研究センターはデータサイエンス部、臨床研究推進部、インターナショナルトワイアル部、臨床研究企画戦略部、レギュラトリーサイエンス部そして疫学・予防研究部の6部門を擁する組織で、新たな治療法の開発や疾病予防策の構築を行い国民の健康増進に貢献することを目標としています。	PAGE 21
国府台病院 Kohkufuji Hospital		2008年4月1日から国立国際医療センター国府台病院として組織再編。2010年4月1日からは独立行政法人化され、国立国際医療研究センター国府台病院となり、地域に開かれた総合病院として高度で先進的な医療を提供するとともに、肝炎・免疫などを主体とした疾患の診断、病変、研究、研修を国内外に提供する役割を担っています。	PAGE 23
研究所 Research Institute		国立国際医療研究センター研究所（NCGMRI）は、わが国の医療分野における国際展開の拠点研究部門の中核として最初に位置づけられた組織で、1993年に国府台病院医療センターと国立国際医療センターとの統合で発足した国立高度専門医療研究センター（ナショナルセンター）内に設置されました。	PAGE 27
国際医療協力局 Bureau of International Health Cooperation		国際医療協力局は、1986年に保健医療分野の国際協力を進めるため国際医療協力部が設置されて以来、あらゆる国の人々が格差なく健康に暮らせる社会を築き、医療・保健衛生の向上を推進させるため、厚生労働省、外務省、JICA、WHOなど国内外の機関と連携してさまざまな活動を実施しています。	PAGE 31
国立看護大学校 National College of Nursing, Japan		国立看護大学校は、2001年に厚生労働省により、国立高度専門医療研究センターの看護職を養成する教育機関として開設されました。政策医療を担う国立高度専門医療研究センターで求められる臨床看護実践能力と、国際社会に貢献できる能力を併せ持つ看護師、助産師を養成しています。	PAGE 35

- ### 様々な国際保健協力に対応
- ・ 診療
 - ・ 研修・専門家養成
 - ・ 専門家派遣
 - ・ 治験・研究
 - ・ 政策支援
 - ・ 国際展開と官民連携